

こころの教室だよ

H28年 9月号

心の教室相談員 江部 弥生

長い休み明けは、どうしても体も心も重くなってしまうがちです。学校生活のリズムに戻すには時間がかかります。普段よりのんびりした姿に「しっかりしなさい！」と、つついってしまいがちですが、言葉がけで子どものモチベーションは大きく変わります。魔法のように言葉は一瞬にして子どもたちの心を変化させてしまう時があります。

相談室では、黒板を使って絵を描くことができます。普段、なかなかできないことなので、とても人気があるのですが、放課終了音楽が流れると絵を消さずに急いで出て行こうとする子もいます。そんな時、消さない子を注意するより先に、ちゃんと消している子に「わあ、他の子の分まで消してくれたのね。ありがとう！」と言い、消さなかった子には、「お友だちが消してくれてよかったね」と言うと、次回、消してくれる子が増えました。

あるトイレに『きれいに使っていただきありがとうございます』と貼り紙をしたところ、『汚すな！きれいに使いましょう！』の時より汚れなくなったという事例もあります。

ポイントは言葉の波動。人は言葉の波動で心揺れます。うれしく思ったり、悲しく思ったり。たとえば、攻撃的や醜い言葉を浴びせ続けると花はすぐに枯れてしまいます。水は振動にとっても敏感です。言葉の波動ですら、感知してしまうほどです。成人は60%、子どもは70%も水分なので、より言葉の影響を受けやすいと言われています。

叱らずして、行動を正すのは、とても難しいことですが、共感や励ましなどさまざまな方法があります。お子さまに合った魔法の言葉をかけられるといいですね。

※ 保護者様のご相談も受付けております。

気になることや相談したいことがありましたら、電話にて学校へ連絡、予約していただきますと、スムーズに相談が行えます。よろしくお願いします。

9月のこころの教室開放日(3階相談室にて)

6(火)
8(木)
9(金)
12(月)
13(火)
16(金)
20(火)
23(金)
27(火)

10時～14時

20分・15分ほかは
子どもたちの相談を優先します。
※ふだんは相談室にいますが、
各教室にいるときもあります。